



ポンプ車の部 操作員優秀賞（減点無し）
 第1分団 第3部 1番員 宮嶋 雄一郎
 第9分団 第3部 1番員 菅 裕之
 第1分団 第3部 4番員 佐藤 稔雄

小型ポンプの部 操作員優秀賞（減点無し）
 第2分団 第1部 指揮者 藤井 雄紀
 第3分団 第1部 指揮者 大場 佳幸
 第3分団 第1部 1番員 土屋 裕介
 第5分団 第1部 1番員 佐々木 匡海
 第3分団 第1部 2番員 奥山 勲彦
 第6分団 第1部 2番員 阿部 彰彦
 第2分団 第1部 3番員 後藤 拓実
 第6分団 第1部 3番員 大場 良太郎
 第10分団 第1部 3番員 菅 勝弥
 〈敬称略〉

平成29年度最上町消防団操法大会

7月2日、最上広域消防東支署で町消防団操法大会が開催されました。今年、自動車ポンプの部に2チーム、小型ポンプの部に10チームが出場。大会では、分団代表の各チームが指揮者を中心に統率のとれた操法技術を披露し、約2週間に亘って行われた練習の成果を遺憾なく発揮しました。結果は自動車ポンプの部は向町消防団が、小型ポンプの部は十日町消防団が優勝し、十日町消防団は7月30日に行われる支部大会に出場することが決まりました。たいへん暑い中、ヘルメットに訓練服で競技を行なった選手の皆さん、関係者の方々、本当にお疲れ様でした。



▲写真左から二戸修さん、高橋町長、木村喜実生さん

「第30回特用林産功労者賞」を受賞

木村喜実生さん（法田下）と二戸修さん（志茂）が、日本特用林産振興会主催の第30回特用林産功労者賞を受賞されました。木村さんは、昭和55年にひらたけの栽培に着手し、平成6年にはまいたけの、平成16年からは菌床しいたけの生産にも取り組んでいます。二戸さんは、昭和57年に原木しいたけの栽培に着手し、平成13年からは菌床しいたけの生産に取り組んでいます。お二人は近年、地下水熱を活用した省エネルギーの空調設備を導入し、年間を通じて高品質なしいたけを出荷することや、コストを抑えながら安定的にきのこを栽培する技術を確認するなど、きのこの産地化に大きく寄与されています。

成人式実行委員の活動スタート

6月に実行委員会を立ち上げ、8名のメンバーが毎週集まって活動しており、8月16日に開催される最上町成人式のために、テーマ看板作製や記念講話の企画などの準備を進めています。今年の成人式テーマは「Challenge 4 Dreams」です。このテーマには「成人式をひとつの節目に、一人ひとりが夢に向かって挑戦していきましょう」という意味が込められています。参加した皆さんの記憶に残るような成人式にしたいと実行委員一同、準備に取り組んでいますので、新成人の皆さんのご参加をお待ちしています。



キラリ☆ 最上の子どもたち

シリーズ17

笑顔いっぱい、感謝いっぱい
富沢すこやかクラブの巻



将棋で遊ぶ子どもたち

「富沢すこやかクラブ」は、富沢小学校の一角にあります。以前は富沢生活改善センターにありましたが、交通事情を考慮して、一昨年より今の場所に移りました。登録している児童は11名で、2名の支援員と2名のサポーターと共に楽しく活動しています。

子どもたちが、クラブに来てまずすることは、宿題や自習です。それが終わると、オセロやトランプなどのゲーム、秘密基地ごっこやお店屋さんごっこ、ぬり絵やドミノなどをして遊びます。最近、町の将棋愛好家の方から将棋を教えてもらい、ちよっとしたブームになっています。また、体育館を使うことができないようになったことで、ドッジボールやバドミントン、鬼ごっこなどでもできるように思い切つて遊ぶことができ、体力の向上にも役立っているようです。

遊ぶ場所がたくさん

小学校に移ったことで、体育館以外でも学校のグラウンドや遊具を使うことができるようになり、遊びが広がってきました。加えて、すぐ近くに富沢保育所があることから、ときどき園庭を使わせてもらっています。起伏のある園庭には大きな木もあり、池もあります。田んぼにも近いので、水生生物の観察や虫採りなど、恵まれた環境を十分に活用して楽しんでいます。

楽しい読み聞かせ

子どもたちが楽しみにしている活動は、読み聞かせです。支

援員やサポーターが読み手の方ですが、富沢すこやかクラブの特色は、子どもたちも読み手になることです。自分が読んでおもしろかった、感動したという本を友達に読んであげます。そうすることによって、一層読書の楽しさが深まり、話題が広がっていきます。上学年は下学年の子どもも楽しめそうな内容の本を選んだり、読み方を工夫したりすることで、思いやりの心も育ちます。毎日の読書の時間は、子どもたちの気持ちをゆつたりと優しくしてくれます。

子どもが伸びる環境づくり

小学校の授業が終わるとすぐに、体育館わきにあるクラブの部屋に、「ただいま」と言って帰って来る子どもたち。表情には安堵の笑顔が浮かんでいます。「お帰り」と保護者になったつもりで、笑顔で迎えることを大切にしながら、安全で安心な環境づくりに努め、第二の家庭でもある「富沢すこやかクラブ」で過ごす日々が充実したものになるよう心を配っていきます。

小学6年生の交流学習

学校が夏休みに入る7月下旬、町内の小学校6年生全員を対象とした交流学習が、2泊3日の日程で、鶴岡にある県立金峰少年自然の家で行われます。

普段は接することのできない海で泳いだり、イカダに乗ったりという体験を通して交流を深めます。どの活動もコミュニケーションが必要となり、その結果、始めはぎこちなかった会話も、3日目にはすっかり打ち解けて、来春の最上中での出会いを約束してそれぞれの学校に帰っていきます。



最上町教育委員会 教育文化課・幼児教育課